

1990年から続く一般対象の哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

平成29年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	4月15日【土】 午後1時30分	女性哲学者のフロンティア —高橋ふみ—	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	5月20日【土】 午後1時30分	西田幾多郎、平塚らいてう、鈴木大拙 —性と禅体験—	西ワシントン大学教授 遊佐 道子
③	5月21日【日】 午前10時	伝記を書く —幾多郎・大拙—	
④	7月 1日【土】 午後1時30分	女性の姿をした仏たち —その信仰と美術—	金沢大学教授 森 雅秀
⑤	9月30日【土】 午後1時30分	「哲学」の基礎を作ったひと —アリストテレス（1）どう生きるか—	京都大学教授 中畑 正志
⑥	10月 1日【日】 午前10時	「哲学」の基礎を作ったひと —アリストテレス（2）〈ある〉とはなにか—	
⑦	11月 4日【土】 午後1時30分	禅 —問答の宗教—	駒澤大学教授 小川 隆
⑧	11月 5日【日】 午前10時	禅問答の思想史	
⑨	12月 9日【土】 午後1時30分	いのちについて考える —iPS細胞の倫理学—	富山大学名誉教授 盛永審一郎
⑩	2月24日【土】 午後1時30分	ある教育学論 —西田幾多郎と木村素衛の場合—	金沢ふるさと偉人館 館長 輪島 道友



※石川県民大学校連携講座として、各回2単位を取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。
※かほく市民大学校の対象講座として、各回4単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

期 間 平成29年4月15日【土】
～平成30年2月24日【土】（全10回）

会 場 石川県西田幾多郎記念哲学館

受講料 1回：500円、年間：2,000円

申込方法 住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、葉書・電話・FAX・
E-mailなどにて、右記までお申し込みください。
申込は、随時受け付けております。

※個人情報、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail : nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

平成 29 年度
西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授

① 4月15日 [土] 午後1時30分

女性哲学者のフロンティア -高橋ふみ-

■講師、講座の紹介

西田幾多郎の姪、高橋ふみ(1901 - 1945)は学問をする女性はまだ珍しかった時代に、哲学を生涯の仕事として選びました。哲学を学ぶため、東京女子大学、東北帝国大学に進学し、ドイツにまで渡った彼女の生き様とその魅力についてお話いただきます。哲学館では、3月28日(火)から10月9日(月)まで、高橋ふみについての企画展を開催します。

■専門分野

西田哲学、日本哲学史、死生学

■主な著書・論文

『おふみにんに続け！ 女性哲学者のフロンティア』(ポラール出版)

遊佐 道子 西ワシントン大学教授

② 5月20日 [土] 午後1時30分

西田幾多郎、平塚らいてう、鈴木大拙 -性と禅体験-

③ 5月21日 [日] 午前10時

伝記を書く -幾多郎・大拙-

■講師、講座の紹介

「女性解放運動家」として知られる平塚らいてう(1889-1971)ですが、若い頃には参禅修行をしていました。アメリカで長年、西田幾多郎とその思想を研究されている遊佐道子先生に、らいてうの参禅修行を伏線にして、性(sex/gender)という意外な角度から、主に渡米中の大拙と幾多郎のかかわりについてお話いただきます。

■専門分野

西田哲学、宗教哲学

■主な著書・論文

『伝記 西田幾多郎』(燈影舎)

森 雅秀 金沢大学教授

④ 7月1日 [土] 午後1時30分

女性の姿をした仏たち -その信仰と美術-

■講師、講座の紹介

仏教には男性のみが仏になれる、という考えがある一方、女性の姿をした仏に対する信仰も各地で行われてきました。今回は、そうした信仰が、どのように変化・発展したのかを、彫刻や絵画などの多様な造形作品を紹介しつつ、お話いただきます。

■専門分野

仏教思想、仏教美術

■主な著書・論文

『エロスとグロテスクの仏教美術』(春秋社)

中畑 正志 京都大学教授

⑤ 9月30日 [土] 午後1時30分

「哲学」の基礎を作ったひと -アリストテレス(1) どう生きるか-

⑥ 10月1日 [日] 午前10時

「哲学」の基礎を作ったひと -アリストテレス(2) 〈ある〉とはなにか-

■講師、講座の紹介

哲学にはさまざまな分野があります。たとえば「倫理学」や「形而上学」など。こうした哲学分野の分類や、多くの哲学用語を作ったのは、アリストテレスという古代ギリシャの哲学者でした。「どう生きるか」(倫理学)、「〈ある〉とはなにか」(形而上学)の二分野に分けて、彼の思想とその影響についてお話いただきます。

■専門分野

ギリシャ哲学、哲学史

■主な著書・論文

『新版 アリストテレス全集』(編集/岩波書店)

小川 隆 駒澤大学教授

⑦ 11月4日 [土] 午後1時30分

禅 -問答の宗教-

⑧ 11月5日 [日] 午前10時

禅問答の思想史

■講師、講座の紹介

門外漢から見ると、「禅問答」には、意味不明な言葉で煙に巻かれる、というイメージがあります。けれども、中国禅宗史の専門家によれば、元来は、はっきりとした意味のある問答だったそうです。今回は、「禅問答」のもともとの姿と、その発展の歴史を分かりやすくお話いただきます。

■専門分野

仏教学、中国禅宗史

■主な著書・論文

『禅思想史講義』(春秋社)

盛永審一郎 富山大学名誉教授

⑨ 12月9日 [土] 午後1時30分

いのちについて考える -iPS細胞の倫理学-

■講師、講座の紹介

哲学は現代人の生活にも関わっています。特に変化の激しい分野では、常識では判断できない事例が生まれてきます。今回は、再生医療の要であるiPS細胞をめぐる浮かび上がる哲学的問題についてお話いただきます。

■専門分野

倫理学、応用倫理学

■主な著書・論文

『医学生のための生命倫理』(共編/丸善出版)

輪島 道友 金沢ふるさと偉人館館長、金沢美術工芸大学名誉教授

⑩平成30年2月24日 [土] 午後1時30分

ある教育学論 -西田幾多郎と木村素衛の場合-

■講師、講座の紹介

加賀出身で、幾多郎の愛弟子である木村素衛(1895-1946)は、献身的な講演活動で信州などの教育界にも多大な影響を与えた教育哲学者です。美学を志した木村が教育哲学へ転じた背景には幾多郎の助言がありました。哲学館では、10月17日(火)から木村についての企画展を開催します。

■専門分野

教育学、思想史

■主な著書・論文

『学校教育の基盤』(共著/協同出版)